

能勢の未来を編み直す、みんなの広場

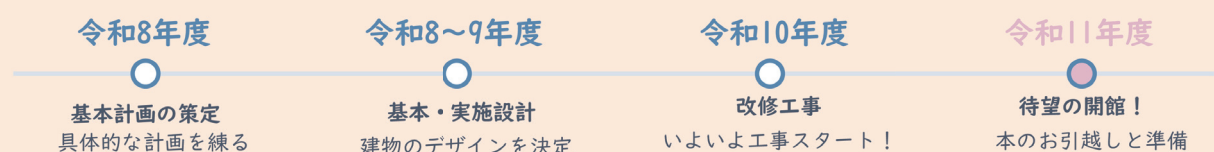
5. 地域みんなで育てる運営スタイル

開館がゴールではなく、運営そのものが能勢の未来を創る「まちづくりの実践」です。専門司書と、地域の多彩な知恵や特技を持つ「つなぎ手」が協力し、本を介した学びに加え、子育て相談や学習支援、交流イベントなど、多様なサービスを展開します。地域の「ほころび」を繕い、一人ひとりの思いを結び直すことで、能勢の日常をより豊かにしていく参加型の運営をめざします。

6. 整備スケジュール

基本構想の策定後は、基本計画、設計、工事へと段階的に進みながら、「のせのセッション」の活動を通じて、進捗状況を分かりやすくお伝えしていきます。一歩ずつ形になっていく過程を皆さまと共有し、期待感や愛着を高めながら、令和11年度の開館をめざします。

《開館への道のり》



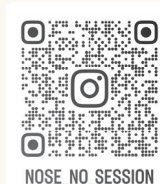
「のせのセッション」に、参加しませんか？



「のせのセッション」は、能勢町の旧久佐々小学校体育館「敬愛舎」を舞台に、町民の皆さんと一緒に図書館を創っていく活動です。

皆さんにこの活動への関心を持っていただけるようつくったロゴには、図書館の「本」をイメージしたモチーフの上に、敬愛舎の丸窓と「のせのセッション」の言葉を乗せ（載せ）ました。本のモチーフがハコから飛び出し、大きく広がっているのは、この活動が能勢内外に広がり、たくさんの方に参加してもらいたいという願いを込めています。

「のせのセッション」でのワークショップや気軽に参加できるイベントを通じて、「能勢にどんな図書館があったらいいかな？」をみんなで一緒に考えていきませんか。



詳しくは能勢町 HP (<https://www.town.nose.osaka.jp/>) または Instagram 公式アカウント (@nose_no_session) でお知らせしています。

《発行元》



能勢町教育委員会 生涯学習課

TEL：072-734-2452

Email：syogai@town.nose.osaka.jp

新しい「能勢町立図書館」ができるまで ～つなぐ図書館プロジェクト～

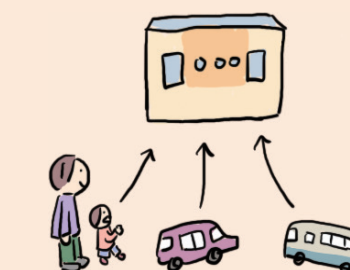
私たちの暮らしを支えてきた生涯学習センターが、新しく「図書館」として生まれ変わります。単に本を借りるだけの場所から、人と人、能勢の歴史と未来をつなぐ「知と交流のハブ」へ。皆さんと一緒に創る、新しい図書館の姿をご紹介します。

1. なぜ、新しい図書館が必要なの？

築50年が経過した現在の生涯学習センターは、建物の老朽化だけでなく、現代の多様なニーズに応えることが難しくなっています。これからの図書館は、単に「本を借りる場所」ではなく、学び・働き・交流する「町の居場所」としての役割が求められています。

能勢の未来を担う子どもたちの学びを支え、多世代が安心して集える場所にするため、私たちは「図書室」から、本格的な「図書館」へのステップアップをめざします。

新しい図書館になると……



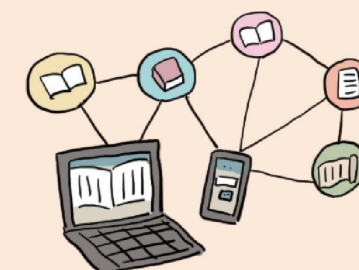
安全・快適な交流拠点へ

耐震性・バリアフリーが確保された、子どもから高齢者まで安心して滞在できる環境になります。駐車場不足も解消され、日常のついでに立ち寄りやすい便利な拠点へと進化します。



「多様な過ごし方」が可能に

狭小なスペースでは難しかった、空間分けが可能になります。読書だけでなく学習、仕事、子育て支援、多世代交流など、個々のニーズに合わせて居心地のいい空間が提供できます。



知恵と情報がつながる

資料のデジタル化やICT活用が進み、能勢の歴史・文化・暮らしの知恵などを次世代へつなぐための情報提供機能が向上します。調べ物や読書案内も充実し、一人ひとりの「知りたい」に答えます。

2. 新しい舞台は、思い出を未来へつなぐ「敬愛舎」



新しい図書館は、ゼロから建てるのではなく、地域に長く親しまれてきた旧久佐々小学校の体育館「敬愛舎」を転用・改修して誕生します。かつて子どもたちの歓声が響いた思い出深い場所が、今度は世代を超えて知識や文化を共有し、新しい物語を紡ぎ出す「町の居場所」へと生まれ変わります。また、既存建物を活用することで、コストや環境負荷を抑えながら整備を行います。

3. 能勢町で新たに整備する図書館のコンセプト

つなぐ図書館

～ほころびつつある関係性を再編し、人と地域の未来を編み直す～

社会情勢が変わる中、これまで地域を支えてきた「つながり」が少しずつ「ほころび」つつあります。新しい図書館は、その「ほころび」をつなぎ直し、日々の暮らしに安心と彩りを添える「居場所」をめざします。

4. みんなの声から生まれた、5つの基本方針

対話の場「のせのセッション」で寄せられた多くの願いと、能勢が直面する課題やこれまでの取り組みをふまえ、私たちは「つなぐ」という言葉に未来への思いを込めました。新しい図書館は、人・情報・時間を丁寧に結び直し、町の未来を共に「編み直す」ための5つの指針に基づき整備を進めます。

1 地域の人をつなぐ

希薄になりつつある多世代の関わりを、誰もが気兼ねなく過ごせる「日常の居場所」として再生します。ふとした会話から新しい支え合いが生まれるような、能勢の新たな拠点を創出します。

2 地域の中と外をつなぐ

能勢の価値を内外へ発信するとともに、暮らしの課題解決に役立つ情報を提供します。多様な人・知恵・活動が交差し、新たな活力が生まれる「開かれた起点」をめざします。

3 過去と未来をつなぐ

先人が築いた歴史や暮らしの記憶を大切に保存し、次世代の好奇心を刺激する新しい「学び」へと変換します。郷土への愛着を育みながら、未来を切り拓く力を育む架け橋となります。

4 能勢の自然とつなぐ

建物の中に留まらず、能勢の豊かな山里全体を広大な「学びの場」と捉えます。自然と関わる機会を広げ、子どもたちの感性と知性を町全体で豊かに育みます。

5 1日の時間をつなぐ

朝から夜まで、一人ひとりの生活リズムに寄り添った利用環境を整えます。仕事、学習、憩いなど、どの時間帯でも「自分の居場所」がある安心と快適さを提供します。

